

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2025 年 5 月 30 日

楽学喜サポートanemonemihama

利用児童数 2025 年 3月 31日

回収数 37名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	33	0	1	・もっと詳しく知りたいことがたくさんあります。	事業所専門的な知識を積極的に提案していく。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	35	0	2		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	36	0	1		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	34	0	3		
5	事業所からの支援に満足していますか。	31	0	1	・振り返りの時間がなかなか持てず、後日で調整していきたい。 ・情報共有できたのでよかった	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・いつもいつもいるわけでないので効果がわからない。 ・療育手帳を保護者に薦めてほしい。 ・今年度は、学校に対して理解のある方でとても良かったです。以前、給食時間まで、話しが終わり、給食が終わってまでもまだ話しがあると待っていらっしゃった方がおり、学校は、時間で動いていて、支援学級には、この子1人ではない事を理解してほしかったです。べつの保育所等訪問の方は、私が教室に入る事で、他の子の授業に支障をきたすと、教室の外から覗き、メモに的確なアドバイスと、保護者へは、☑☑ な形で伝えますと、メモに書いて渡して、その時間で終わりでした。もちろん保護者からの要望なので、大事にしたい時間ですが、他の方が入る 					<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの困り感を共有し、訪問先の困り感に対して対応方法や関わり方を伝え、頼ってもらえるような関係性を構築していく。そのためには学校の状況を把握して、お互いが負担にならないように訪問時間の調整や訪問する際の授業の支障にならないように配慮するなどこまめにコミュニケーションを行い、気になる事は確認していく。 ・訪問した内容と保護者に報告した内容を訪問先でも共有できる書類を提示する。 ・事業所強み（専門的な視点）を先生たちに伝え、先生方の知識や技術につなげられるように資料や教材等の提示も行っていく。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		楽学喜サポートanemonemihama		公表日 2025年5月30日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
営 ・ 体 制 整	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3	0	その場で支援のツール(絵カードなど)をお見せできないのがあり、次回の訪問の際に改めてご説明しています。	2025年度は教材・教具を作製し積極的に現場で使用していく予定です。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2	訪問の頻度を、二ードや学校での状況に応じて対応している。	人員を増やして訪問回数を増やしていく予定です。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	ミーティングでケースの共有の時間が持てて助かっています。他のケースの話題でも自分のケースと重なるところがあります。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		保護者との面談を取り入れていく。ペアトレの開催を検討中です。放課後等デイサービスと連携してお茶会の開催等も企画していきたいと思っています。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	なるべく相談したこと、アドバイスいただいたことをメモに残すようにしています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	アンケート実施後に評価をふまえて、改善に繋げていきます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0	必要に応じて保護者面談を行い、対面で保護者の希望や困りごとの聞き取り。計画書へ落としこんでいます。LINEやお電話では丁寧な聞き取りが難しいことがあり、定期的に保護者との対面での面談を行ってきたいです。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	1		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0	訪問時のこどもの状態、先生や保護者からのお話をもとに検討しています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	計画書を職員間で共有しながら、より具体的なアドバイスやケースの共有を今後行っていきたい。	月1回のミーティング等で事例の共有はしているが、計画書を通してお互いが交流する時間は少ない。今後交流する時間を検討していく。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1	行動観察の他に、標準化されたツールも用いながら定期的に評価を行いたい。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	2	先生方への対応、児童の観察ポイントなど事前に打ち合わせを行う場合もあるが毎回ではない。	複数児童がいる訪問先へ行く時は事前打ち合わせを行っているが、全利用者は行っていないので時間を確保していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	2	優先度の高いケースに関しては報告・相談を行っている。日々、支援の振り返りを共有していきたい。	各々の記録を閲覧できるようにしているため、情報共有しているが、苦慮している事例に対するリアルタイムな相談や情報共有できるように連絡網で使っているLINEを活用していく。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	0	先生方への対応、児童の観察ポイントなど事前に打ち合わせを行う場合もあるが毎回ではない。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	0	外部研修へ積極的に参加させてくださり、学びにつながっている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	3	地域へもっと目を向けて、アンテナをはりたい。参加している職員から話を聴きたい。	訪問支援連絡会を通して情報交換の場へ参加したり、研修講師として実績もあり、今後は連携して参加の仕組みづくりを予定している。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	保護者の希望に合わせて文章やお電話にて共有を行っている。	公式ラインや電話等を利用したり、対面する機会をこれまでのように継続していく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	3	自分自身も情報収集を行い、今後は積極的に情報を提供していきたい。	今後実施計画を立てて実施していく予定。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	3	他事業所の取り組みや、身近な児童デイでの保護者会の取り組みから参考にしていきたい。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		要望や相談、困り感に関しては出来るだけすぐに対応できるようにしている。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	2		訪問報告をLINEや電話で伝える様にしている。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0	訪問後に先生方との振り返りの時間をもうけて対応している。その他、お電話での共有や会議など。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0		

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	訓練の実施へは至っていない。	マニュアルは作成していたが、2025年5月に感染対策委員会を設置し、周知訓練等を行っている。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		他事業所からの情報交換しながら、2025年度は計画的に実施していく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		非常時対策、災害、感染症。虐待防止の研修を定期的実施。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0		